
FIRSTCLASS® 10.0 の新機能

FIRSTCLASS® 10.0 の新機能

目次と概要



1. 検索機能の強化

FirstClass の検索エンジンは保存されたコンテンツを全てインデックス化し、検索結果が驚くほど速くなります。世界中のインターネットユーザは、Googleのような強力な検索エンジンを利用して、興味ある内容を素早く検索することに慣れています。インターネットは平坦な権限構造ですがFirstClassでは階層化された権限が設定され、そして守られるべきアクセス制御があります。新しい検索システムではユーザが検索ワードを入力したとき、閲覧する権限を持つ情報の中から、関連性でランクづけされた検索結果を素早く得られるような、"魔法の"検索ボックスを提供します。



2. クライアントソフトウェアの強化

クライアントソフトウェアのメール、カレンダーやコンタクトの各アプリケーションが強化されます。インデックス化による検索機能の強化とフィルタ機能によるすばやい絞り込み表示によって、さらに使いやすいクライアントソフトウェアになります。また、パンチスルーカレンダーによりスケジュールの参照がより便利になりました。



3. Webクライアントの強化

AJAXを利用することにより、Webブラウザからの操作がより快適になりました。ドラッグ & ドロップやコンテキストメニュー（マウスの右クリックで表示されるメニュー）の操作がブラウザから行えるようになり、よりクライアントソフトに近い感覚でアクセスできるようになりました。



4. インターネットサービスの新機能

AJAX、JSON、JavaScript等の新しい技術に対応するWebブラウザが登場し、これによりクライアントと同じような操作ができるようになりました。現在、このような種類のインタフェースが "Web2.0"スタイルのアプリケーションの多くで利用可能です。これらの技術が進歩したことで、新しいWebユーザインタフェースを構築することが可能になりました。現在、既存のFirstClassの機能と新しい機能を実現するような、最先端のWeb2.0スタイルユーザインタフェースを実現する努力をおこなっています。Web DAVプロトコルへの対応をおこない権限のあるコンテナにはアプリケーションから直接保存が可能になりました。



5.ソーシャルメディア

ソーシャルメディアは、安全なコラボレーション環境ですべてのソーシャルネットワーク機能(wiki、ブログ、プロフィール等)を提供するインタフェースに基づいた、表現力豊かなブラウザの新しい形です。FirstClass 10とソーシャルメディアのユーザは、様々な方法でこの2つのアプリケーションを切り替えることができます。

組織内の人と組織外の人が交流するために使用する新しいコラボレーションツールとして、例えばディスカッショングループ、フォーラム、プロフィール、Wiki、そしてブログのようなソーシャルネットワーキング機能を備えたアプリケーションが1、2年前から世界中で注目を浴びました。FirstClassユーザは長年これらの機能の多くを利用することができました。というのも、FirstClassでは組織が関心を持つようなすべてのコラボレーションツール機能を持っていたも同然だったからです。

FirstClass開発チームの主な戦略的方向性としては、プロフィールやブログやWikiなどを追加し、上述のような最先端のWeb ユーザインタフェースへ実装していくことにより、基礎的なコラボレーション機能を強化していくことにあります。

ソーシャルメディアの検索機能では、検索を実行すると即座に、閲覧権限のある範囲内で関連性の高い順に結果が表示されます。



6.FirstClassサーバの新機能

FirstClass 10では、64ビットのハードウェアとオペレーティングシステムで、FirstClassサーバのソフトウェアを標準化しました。これによってマシンパワーとソフトウェアの性能をより多く活用する洗練された機能を開発することが可能になります。

多くのお客さまには、64ビットのハードウェアとオペレーティングシステム構成へ移行することはそれほど難しくないと考えます。2004年以降、Intel、AMD、そしてApple社は64ビットのハードウェア環境を提供しており、この数年間で出荷されたすべてのサーバのプラットフォームは64ビット環境をサポートしています。しかし、32ビットのクライアントは、多くのユーザが利用していますのでサポートを続けてまいります。



7.FirstClassモバイルの新機能

携帯通信のデータサービスは、現在世界中で展開されている3G、Wi-Fi、Wi-Max等の技術発達に応じて、よりスピーディに、より高い信頼性で、そしてより広い範囲で利用できるよう変化し続けています。携帯電話においては、Apple、RIM、Nokiaその他各社の製品を見れば分かるように、より使いやすく操作できるようになっており、より機能が豊富になってきています。



8. アプリケーションサービス

FCAS の新バージョンは、FirstClass ディレクトリ内のエントリに直接アクセスすることが可能になります。FirstClass スクリプトを用いずに、ユーザアカウントの作成、変更、削除ができるようになります。さらに、ディレクトリの検索、一覧表示ができるうえ、在籍確認などの動的なディレクトリ関連情報にまでアクセスできます。



9. FirstClass ディレクトリサービス

FirstClass ディレクトリサービスは強力な機能により、Microsoft のアクティブディレクトリや LDAP などのメタディレクトリとの統合が可能です。



10. アーカイブサービス

システムの利用に関する認証やアクセス管理、マスタデータの一元管理といった、FirstClass の特徴を生かした FirstClass 用の統合アーカイブ機能です。総合的なアーカイビングとデータ保管、検索機能を FirstClass 上で提供します。



11. サーバメンテナンス

統計値、監査、ログマーカなどサーバメンテナンスに有効な機能拡張をおこないました。



12. フォーム

サーバ管理フォーム、コンテナテンプレートフォーム、グループ権限フォームなどより便利になったフォームの変更点をピックアップしました。



13. ボイスサービス

ボイスサービスが Dialogic Media Gateways (DMG) に対応します。DMG は、近年の VoIP/SIP の世界と、以前主流だった回線切り替え方の PBX との世界をつなぐ架け橋となる、スタンドアローン型のユニットです。

(現在本機能は日本語版では提供していません)



1. 検索機能の強化

FirstClass 10 では、パフォーマンス性の高い関連性ランク付け機能をもった検索エンジンが、FirstClass コアサーバに実装されます。新機能には、以下の内容が含まれています。



高速化

新しい検索エンジンは、何百万のコンテナやオブジェクトに対する検索条件においても、ほとんどの場合一秒以内で結果を返します。



権限を反映した検索

検索エンジンは、FirstClassの権限やアクセスコントロールに基づいて忠実に結果を返しますので、ユーザが検索結果として参照できるのは、アクセス権がある情報のみとなります。



添付ファイル内のテキスト検索

PDF や Word やテキストファイル等の、ファイルや添付ファイル内に含まれるテキストデータも、インデックスに追加されるようになります。



ソーシャル検索

検索エンジンには、コンテンツやユーザあるいは会議室などによってカテゴリ分けされ、関連性でランク付けされた結果を返答するような、革新的な「ソーシャル検索」ともいべきアルゴリズムが含まれています。これにより、検索条件に関連するコンテンツだけでなく、関連するユーザや会議室も検索できるようになります。



インデックス化

インデックス化により検索機能を強化します。上部ペインにはカテゴリ化された保存場所(コンテナ)が表示され、下部ペインにドキュメントやメッセージが表示されます。検索スピードと正確性が向上します。

監査が最初に行われる時、システム内のアイテムを検索してインデックス化を行います。そのため、最初の監査は通常の監査よりも時間がかかります。一度インデックス化が行われると、毎日夜間に、FCNS 内の「index」フォルダにインデックスの状態が書き込まれます。

もし、最新のインデックスが書き込まれる前にサーバがクラッシュした場合、またはインデックスファイルが壊れている場合は、次の監査時に更新されます。インデックス化が完了する前にシャットダウンした場合、インデックス化は中断されます。インデックス化の完了時には、サーバコンソールに通知が表示されます。

注意: 隠れたアイテムは検索結果に表示されません。また、削除されたアイテムはインデックス化されません。



即時インデックス

FirstClass 10 で作成したり受信したりしたすべての新規コンテンツは、システムへ投入された際すぐにインデックス化されすぐに検索対象となります。新しいコンテンツがインデックス化されるのを待つ必要はありません。FirstClass 10 へのアップグレード時には、FirstClass ネットワークストアの既存のコンテンツすべてが自動的にインデックス化されます。



インデックスの保存

何も無い状態からのインデックス作成がサポートされています。再起動やリカバリ操作の速度を向上させる目的で、検索インデックス用のデータは常駐データとしてディスク上に保存されています。



マルチスレッドの検索アーキテクチャ

FirstClass10 の検索エンジンはマルチスレッドのアーキテクチャをサポートしています。巨大なマルチコアシステム上では、検索とインデックス化の操作を別々のプロセッサコア上で並行して実行することが可能ですので、FirstClass サーバのパフォーマンスにはほとんど影響を与えません。



データ範囲での検索

必要な場合はデータの期間を設定して検索することができます。



関連性スコア

サーバは、検索結果を関連性スコアによってあらかじめ並べ替えてクライアントに返します。クライアントソフトのデフォルトのソート順が最終更新日になっている場合、[表示のプロパティの変更]から、[並べ替え]と[グループ化]を無効にし、関連性スコアを降順で並べ替えることで、関連性の高い順で結果を表示することができます。



2.クライアントソフトウェアの強化

メッセージ

自動返信の設定通知

サーバに接続した際に自動返信が有効になっていると、自動返信が有効であることを知らせるポップアップが画面右下に表示されます。



強化された自動返信

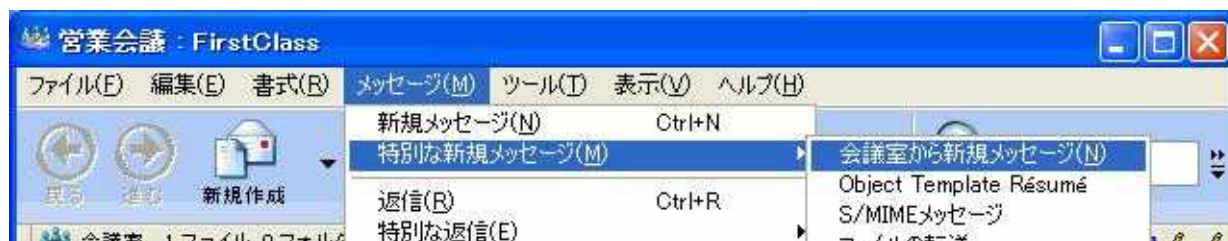
勤務外の自動返信は、送信者ごとに一日一回返信されます。

FirstClassのオブジェクトを添付ファイルとして送信

SMTPメールを通して、FirstClassのオブジェクトをメールに添付することが可能です。FirstClassドキュメントはHTMLに変換され、コンタクトやカレンダーのイベントは自動的にvCardとvCalendar方式に変換されます。添付されたFirstClassメッセージはMIMEエンコードのメッセージに変換されます。

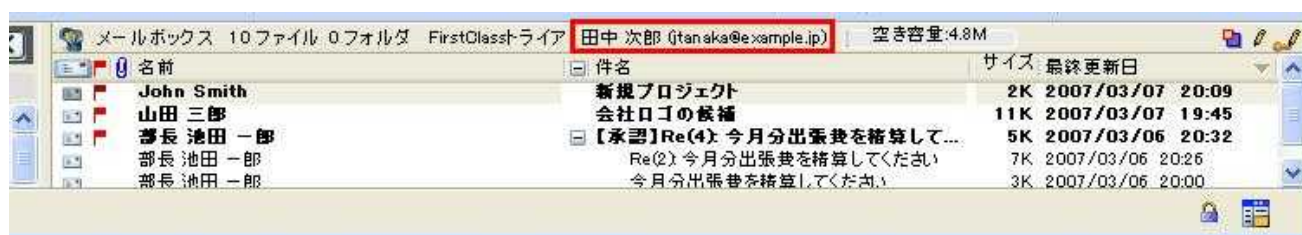
会議室からのメッセージ

標準のメニューコマンドから、会議室からメッセージを作成したり返信したりすることができます。



要約バーに送信元メールアドレスを表示

メールボックスを開くと、送信元に設定したメールアドレスが要約バーに表示され、送信するメールアドレスを確認できるようになりました。



カレンダー

パンチスルーカレンダー

複数のカレンダーからのアイテムを連携し、それぞれのカレンダーの表示やカラーコードを統一することができます。これは一般に“パンチスルー”と呼ばれるものです。例えば、グループカレンダーがユーザの個人カレンダーと連携されていれば、個人カレンダーを開いたときにグループカレンダーのアイテムも同時に表示されます。

利用可能なカレンダーの一覧が左側のペインに表示され、チェックを入れたカレンダーが表示されます。複数のカレンダーがパンチスルーされた表示例です。



印刷

週表示や[今日の一覧]リストを印刷する場合、[「作業」の印刷]と[パンチスルー]のオプションを選択できるようになります。

日表示、週表示、月表示において印刷機能が拡張されます。

インポート

カレンダーのインポート機能が.ics(iCalendar)ファイルをサポートします。

コンタクト

コンタクトからWebサイトを表示

コンタクトのフォームから入力されているURLを右クリックし、「リンクを開く」を選択すればWebサイトを表示できます。

登録住所の地図表示

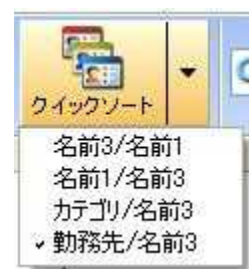
[マップ]をクリックすると、登録された住所のWebの地図ページを開きます。

ビジネス用と個人用アドレスの区別

コンタクトにビジネス用と個人用アドレスの両方が登録されている場合、どちらのメールアドレスを利用したいか選択することができます。ビジネス用と個人用アドレスの両方に登録されているアドレスは、ディレクトリでは2度表示されます。Eメールアドレスが登録されていないコンタクトもディレクトリに表示されますが、メッセージのあて先としてディレクトリを開いた場合は表示されません。

コンタクトのソート

コンタクトのソートにも多くの方法があります。コンタクトをカテゴリ化することができ、インデックスカード表示では色分けされます。ツールバーのQuick Sortボタンを使えば、性、名、カテゴリ、会社名ですぐにソートできます。



表示機能強化

コンテナでのフィルタリング

フィルタフィールドがすべてのコンテナのツールバーに追加されます。コンテナ内の目的のアイテムが即座に検索できます。コンテナ内のコンテンツにフィルタをかけ、特定のテキストを含むアイテムだけを表示させるのに使います。例えば、特定の人の名前を入力すれば、その人に宛てた、またはその人からのコンテンツのみ表示されます。フィルタフィールドをクリアするだけで、フィルタは解除されます。このオプションは、ツールバーから削除した場合でも、キーボードのショートカットまたはメニューから選択することができます。



グリッドに合わせてアイコンを整列

コンテナの“表示のプロパティ”のフォームのアイコンタブで設定すると、グリッドに合わせてアイコンの自動整列が可能です。アイコンの自動整列を選択すると、整列方向を「左から右」と「上から下」から選択できます。また、任意にドラッグしたグリッドに合わせて自動整列させることもできます。デフォルトのグリッドに合わせて整列させることも、指定したグリッドに合わせて整列させることも可能です。

アイコン名を折り返して表示

[表示のプロパティの変更]フォームでアイコン名の折り返し幅を設定し、アイコンのタイトルを折り返して表示させることができます。



未読アイテムの追跡の拡張

FirstClassの未読アイテム追跡システムが著しく拡張しました。新機能のポイントは、各コンテナで未読アイテムの数が表示されるようになることです。未読アイテム数は、FirstClassクライアントやFirstClassモバイルクライアントのインターフェースで表示されます。従来表示されていた、未読を表す赤いフラグもオブジェクトごとに表示されます。



リスト表示のソート順を保持

リスト表示で選択したソート順が、その他の表示でも適用されます。例えば、ある特定のコンテナのリスト表示をアルファベット順でソートし、その後アイコン表示に変更しても、そのままアルファベット順にソートされて表示されます。

編集

簡条書き

簡条書き用の点を本文に挿入できるようになります。ツールバーのボタンまたは[書式設定]から選択してください。



スペースの幅や、点の形状、フォントなどを設定できます。

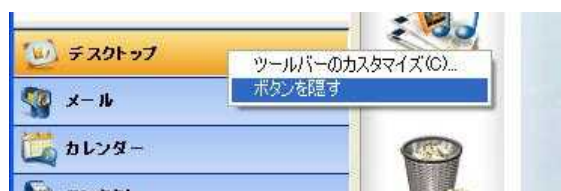
スペルチェック機能は、本文だけでなく宛先部分(件名など)もチェックできるようになります。

レコーディングの編集

標準的なコピー、カット、ペーストを利用して、レコーディングを保存する前に編集することができます。セクションを切り取るか、またはカット、コピーで、レコーディング内の他の場所にセクションをペーストし、レコーディングを編集できます。

ナビゲーションバー

ユーザ、管理者を問わず、ナビゲーションバーの削除・追加が他のツールバーのアイテム同様に行えます。さらに、管理者はグループごとに、カスタマイズされたナビゲーションバーを作成できます。



ソーシャルメディアとの統合

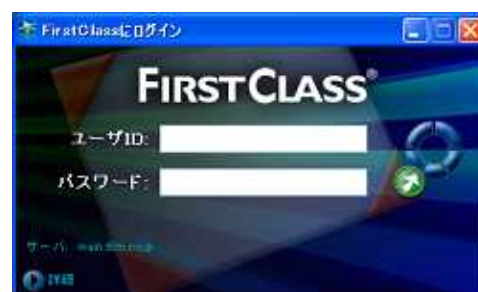
FirstClassソフトウェアとソーシャルメディアは、簡単に統合することができます。ユーザは、より簡単なインターフェースでメッセージ、ディスカッション、ブログにアクセスできるようになります。クライアントソフトからは、様々な方法でこの2つのアプリケーションを切り替えることができます。

ログイン画面

現在のインターフェースの流れを汲んだ、新しい画面になります。

FirstClassパーソナル

FirstClassパーソナルは、新しいメッセージをただ複製するだけでなく、ユーザのメールボックスと同期するようになりました。



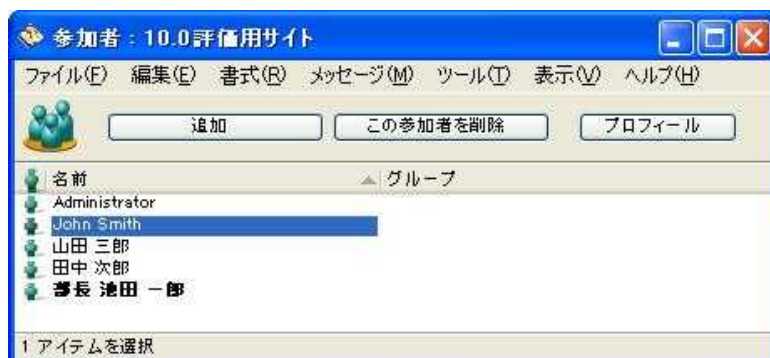


その他の機能改良点

参加者リストの分類

会議室の参加者リストは別々のウィンドウで扱われ、大量の参加者リストのソートや管理を可能にします。

組織単位もこのリストに表示されます。右クリックのメニューか、権限フォームの“参加者”ボタンからこのリストを開くことができます。



ユ - ザIDとパスワードの文字数増加

ユーザIDとパスワードでのUnicode対応に加えて、63バイトまでのユーザIDと27バイトまでのパスワードに対応します。

会議室、メールボックスの最大容量増加

すべての会議室、メールボックスにおいて、32767個までのメッセージに対応します。

その他

- ・コンテンツにドラッグした画像は、PNGかJPGのサムネイルで挿入されるようになります。
- ・参加者一覧にユーザをドラッグすることで、参加者を追加することができるようになります。
- ・新規メッセージや新規メッセージに変更を加えずに閉じた場合、そのアイテムは削除されるようになります。オブジェクトが白紙のまま保存されることがなくなります。
- ・手動で同期を行った場合、その履歴が表示されるようになります。
- ・いくつかのadvanced linkプロパティが情報フォームに再構築されました。また、暗号化のオプションの名前が以下の様に変更されました。

暗号化なし パスワードのみ。 通常 セキュア。 高度 CAST-128。





3.Webクライアントの強化



オブジェクトを利用した作業

- ・ オブジェクトの移動、コピー、リンクの作成をドラッグで行えるようになります。
- ・ マウスを左クリックして範囲指定することにより、複数のアイテムを選択できるようになります。
- ・ 新しいウィンドウでオブジェクトを開けるようになります。
- ・ オブジェクトが選択された状態で[プロパティ]をクリックすることにより、オブジェクトを開かずに情報を変更することができるようになります。
- ・ コンテナにアップロードされたファイルをコンテキストメニュー (Windowsでは右クリック、MacではCtrlキーを押しながらクリック) を使いダウンロードできるようになります。



- ・ ツリー表示で、キーボードナビゲーションとショートカット、オブジェクトの名前の直接変更、ドラッグによる他のペインへの移動・コピー・リンクの作成に対応します。



メッセージ

「このユーザが宛先のメールを作成」ボタンがコンタクトのフォームとメールリストのフォームに追加されます。選択したコンタクトにメールを作成することができます。



テキストの色指定

任意のアイテムを選択し“Set Color”をクリックすると、そのアイテムを表示するテキストの色を指定できます。

コンテンツのHTMLタグ表示

コンテンツを作成したりフォーマットを行ったりすると、そのコンテンツのフォーマットを管理するためのHTMLタグが自動的に生成されます。通常はこのタグを見ることはありませんが、編集バーの“View Body HTML”をクリックすると、そのコンテンツのHTMLを確認することができます。

FirstClassログインフォーム

FirstClassログインフォームのユーザIDとパスワードを保存することができます。



新着通知サウンド

FirstClassクライアントで、新着メール受信時、カレンダーの新規予定登録時、会議室にメッセージが届いた時に鳴動するサウンドが、Webクライアントでも同様に鳴動するようになります。

インスタントメッセージ

デフォルトで記録機能が有効になっています。[会話の内容を保存する]を選ぶと、常に最初の会話から保存されるので、発言内容が消えてしまうことはありません。



4.インターネットサービスの新機能



64bitへの対応

FirstClass 10のインターネットサービスは64bitのOSに対応します。新バージョンでは、より多くのメモリを必要とし、高度なパフォーマンスと並行処理を実現します。過去のバージョンと異なり、インターネットサービスのパフォーマンスを活かすためには、マルチプロセッサで実行することを想定しています。



WebDAVのサポート

これにより、FirstClass 10内で、Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint等) などの、FirstClass以外のドキュメントを編集できるようになります。これは、プラットフォーム非依存型の機能となり、世界中どこにいてもFirstClassのデスクトップからアクセスができるのです。ユーザはドキュメントを編集し、保存することができます。保存後に、もう一度アップロードする手間が省けます。ユーザがインストールする、Windowsベースのプラグインを利用して設定を行います。WindowsおよびMacにおいて、ユーザのドライブをインターネットサービスにマッピングし、認証を行います。コンテナに、WebDAVアクセスを許可するかどうかを設定します。



ファイルの取り扱いについて

inetsvcs.cf

インターネットサービス OS X、Linux 版は、ある特定のコマンドを実行するインターネットサービスの過程で送られる、一連のシグナルに対応します。その動作は、以下のキーワードを使って Config section 内の inetsvcs.cf ファイル内の入力によって特定されます。

SET_SIGUSR1 SET_SIGINFO

SET_SIGUSR2 SET_SIGVTALRM

新しい変数

ルールとメールルールで利用するため、[#BYTESXFERE] という新しい変数が追加されました。これは SMTP コマンド開始後に実際に転送されたバイト数を表します。



メッセージ

SMTPサブミッションポートの対応

SMTPサブミッションポートの機能は、クライアントからのメッセージの投稿において、587番ポートをサポートします。一度接続すると、ログイン証明を提供し、インターネットサービスによりRFC-822ヘッダがクリアされます。

SMTPメッセージ添付

インターネットサービスは、一つのメッセージに別のメッセージを添付して送信することに対応します。受信する添付されたメッセージを FirstClassメッセージの様に見立てて扱います。

IMAP強化ポイント

FirstClass IMAPサポートは、改良されてきたので、デフォルトで、そのメールボックスのみすべてのIMAPクライアント、特に携帯端末のIMAPクライアントの互換性を高めるためにアクセスされます。

さらに、FirstClassは今では IMAP IDLE コマンドにも対応します。このコマンドは、IMAPサーバとユーザ(主にモバイルユーザ)の接続を維持するためのものです。これで、ポーリングサイクルを待たずに、メッセージが到着したときに確認することができます。



Internet Servicesコンテナ

HeaderMatch

以下のスイッチがHeaderMatchドキュメントに追加されました：

"usecomplianterrorcodes" ……インターネットサービスが、実際のprotocol compliant error codesで、エラーページを送信しているかをコントロールします。

"commontemplates" …… 与えられたテンプレートエリアに設定される、一般のフォールバックテンプレートを設定するのに使われます。

Global Signature (一括署名)

[Global Signature] という新しい設定ドキュメントがインターネットサービスフォルダで利用できるようになります。これは、送信されるすべてのSMTPメッセージに署名を追加するために利用します。

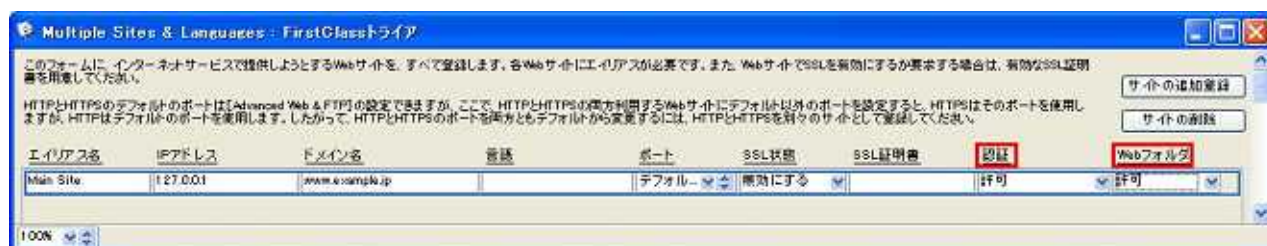


Webパブリッシング

承認モード

Webサイトのアクセスを、デスクトップ、クローズなWebページ、オープンなWebページのいずれかに限定したり、すべて許可したり、逆にすべて禁止にしたりするなど、自由にカスタマイズができるようになります。また、Webパブリッシングを承

認されたアクセスのみに限定したり、すべて禁止にしたりすることも可能です。



表示方法のカスタマイズ

WebパブリッシングのAppearanceボタンで、使用しているテンプレートの見え方の微調整が可能です。このフォームを利用して、色やフォントなどの微調整を行ってください。

新しい表示方法

Webパブリッシングに、"Box"、"Cosmo"、"Metro"の新しい表示方法が追加されました。

ブログのコメント

Webパブリッシングのブログがコメント機能に対応します。他の読者のコメントを見たり、自らコメントを書き込んだりすることができます(要ログイン)。

再ログイン不要で内部ページにアクセス

同じサーバ上のユーザの内部向けWebサイトであれば、再ログインせずにアクセスすることができます。

表の作成

Webコンテンツに表を追加できるようになります。



その他

セキュリティ

クロスサイトリクエストフォージェリ攻撃から守るため、ブログテンプレートで認証鍵の機能をサポートします。ブラウザにクロスサイトスクリプティングへの防御が正しく実装されている必要があります。

パフォーマンスの強化

インターネットサービスのコンソールで、設定ミスの報告が強化されました。inetsvc.cf設定ファイルの中でDBG_InetCfgを設定することで、トラブルシューティングのためのより多くの情報が得られます。さらに、設定失敗の後、一分後にFirstClassは設定を再試行します。ログファイルに現在の設定を表示する、新しいメニューコマンドも追加されます。

高度な情報の扱い

HTTP Inbound APIコンテナとHTTP Outbound APIコンテナが、オンラインヘルプから削除されます。

コンテンツは開発者から直接 Conferences > Peer to Peer Support > FirstClass Webmasters > FAQs にアップ
デートされます。



5.ソーシャルメディア

Open Textソーシャルメディアは、プロフィール、ブログ、wiki、つぶやき、ソーシャルネットワーク、ソーシャルサーチ、コラボレーティブ・コミュニティ、タギングなどの、現代のインターネットの中心となるツールがひとまとめになっています。企業や団体での安全なコラボレーションを提供する、Webベースの柔軟なソリューションです。

この強力なWeb2.0スタイルのソリューションは、安全にコラボレーションできるコミュニティベースの環境の中で、必要なコンテンツや個人にアクセス することができます。これにより、企業・団体における作業の効率化と生産性の向上を図ることができます。 ソーシャルメディアの鍵となる機能は以下の通りです。



ホーム

「ホーム」はソーシャルネットワークへの入り口です。参加するコミュニティ、交流のあるユーザ、閲覧予定の内容などが視覚的に表示されます。 これにより、ユーザは利用できる広範囲の情報を順位付けし、効果的に閲覧することができます。

Terrell Williams
Has a new phone number

Search

Home | Account | Help | Logout

MY PEOPLE

- Eugenia Manchester: On the road again, call me on my cell
- Pernilla Iverson: New phone launch for Xmas 2010?

COMMUNITIES

- Arnica Tradeshow (5)
- Open Café (268)
- Our Policies (42)
- What's New (15)
- Scratch Pad (459)

MY PROFILE

Your profile is 80% complete. Adding your education will make it 90% complete.

MY FLAGGED ITEMS

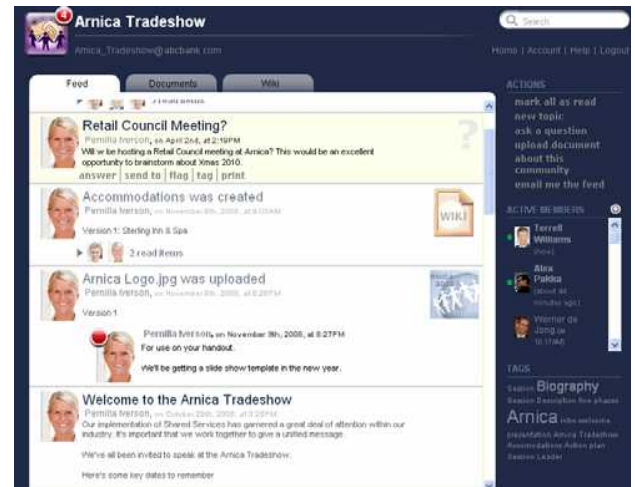
- "Feed" in "Arnica Tradeshow"

MY TAGS

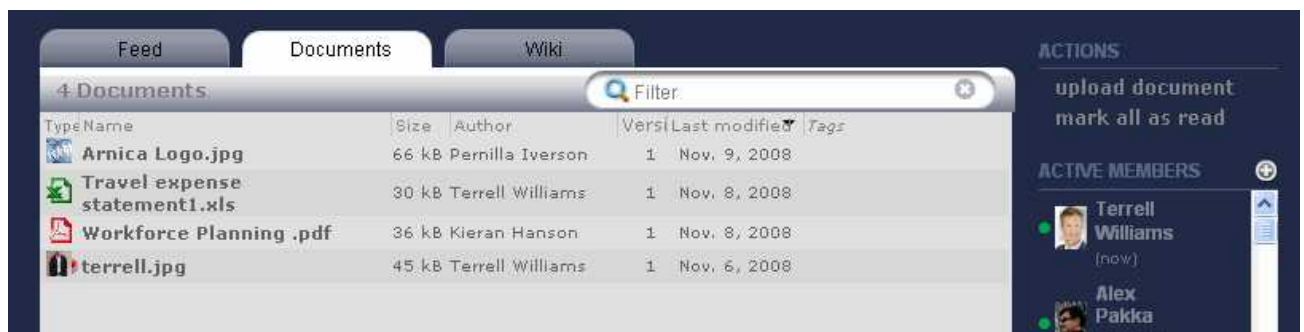
- Telephone Numbers Weekly
- Report cape may jazz
- Biography
- shared services
- reprovision model

コミュニティ

wikiや高度なドキュメント・ファイル共有と同じように、拡張化したグループディスカッションをサポートする共有スペースです。タギング、バージョニング、フラグ機能(アイテムが更新された時の通知)は、すべてコミュニティ内のアイテムに対しても有効です。



高度なドキュメント・ファイル共有が「ドキュメント」タブでサポートされます。



Wikiはチームで最新の情報を発信するのに最適な方法です。カスタマイズされたコミュニティのWikiタブです。





参加者

各ユーザは、名前・電話番号・eメールアドレス・趣味・特技など、多くの項目の個人情報を共有できます。また、twitterのような「つぶやき」機能や、興味のある内容をブログで公開できる機能などが利用できます。また、特技・趣味・投稿内容などをもとにして、ユーザの検索が可能です。フォロー機能で、特定のユーザや投稿者を追跡することができます。彼らがオンラインになったときや新しい投稿をしたときにすぐに通知を受け取ることが可能です。

外部の人(提携パートナー、コンサルタント、サービス提供企業など)を、特定のコミュニティに招待できるのは、この新しいソーシャルネットワーキング機能の大きな特徴です。組織の内部の人でも外部の人でも、対等の関係でコラボレーションができます。コミュニティの機能は標準のWebブラウザで実行できるため、外部のユーザがFirstClassクライアントを使用する必要はありません。外部のユーザはeメールで招待を受け取り、メールに記載されたリンクから招待されたコミュニティにアクセスすることができます。また、新しいコンテンツの お知らせを、eメールで簡単に受け取ることもできます。



管理人用のアカウント

管理者には、特別な管理者用アカウント(Custodian)を割り当てます。これらのユーザは管理者用アカウント(Custodian)を利用してソーシャルメディアにアクセスし、作成、削除、ユーザやアカウントの管理などの基本的な作

業を行うことができます。これはFirstClass 10.0クライアントのインターフェースとして提供されます。



6.FirstClassサーバの新機能

インストールとアップグレード



プラットフォーム

FirstClassサーバとFirstClassインターネットサービスを実行するには64bitのマシンが必要となります。

また、今までより多くのメモリを必要とし、ネットワークストアの容量は著しく増大します。

Windowsマシンでは、Windows 2008 64bitサーバとWindows 2003 64bitサーバに対応しています。Windows 2003 32bitサーバやWindows 2000サーバでは、FirstClassサーバを実行することはできません。



管理者デスクトップの変更

FirstClass 10.0にアップグレードすると、以下の点が変更となります。

- ・監査によって既存のFirstClassネットワークストアの内容が、すべて自動的にインデックス化されます。既存のコンテンツのインデックスを作成する時間はシステムごとに異なりますが、大規模なFirstClassシステムの場合、完了までに数日かかる可能性があります。インデックス化の作業中、検索機能は正しく動作しません。しかし、作業完了後は標準のWeb検索エンジンよりも高速な検索が可能になります。

- ・「Owner」というメタグループがGroupsに追加されます。この変更の目的は、後述のGroupsの項目で説明します。

- ・「Peer Registered Users」というグループがGroupsフォルダに追加されます。ソーシャルメディアにより招待されたユーザ

は、このグループに追加されます。ソーシャルメディアのテンプレートがインストールされた場合のみ表示されます。

- ・「All Communities」グループがGroupsフォルダに追加されます。このグループは、ソーシャルメディアによって作成され

たコミュニティを管理します。ソーシャルメディアのテンプレートがインストールされた場合のみ表示され、有効となります。



後方互換に関する変更点

後方互換について調査を行いました。主な変更点は以下の通りです。

- ・現在サポートしていないプロトコルは、今後のサポート対象からも除外されます。TCP、UDPおよび内部のパイプのみサポートします。（サーバ内では、プロセス間のローカルパイプではなく、CLUIでの内部バッファメモリがサポートされます。）

- ・一部のプロトコルのデフォルトはAppleTalkからTCP/IPに変更されます。

- ・.SESファイルはサポート対象外となります。

16bitのWindows、Mac OS 8、Mac OS 9、68K Macの残りのリファレンスコードはサポート対象外となります。

- ・SAFileからの、MacOS9の特定ボリュームの運用はサポート対象外となります。
- ・CIFSはサポート対象外となります。

タイムゾーン

タイムゾーンに新しい地域が追加され、タイムゾーンはオルセンのタイムゾーンデータベース2009b版に更新されます。

アプリケーションの改良

Unicodeサポート

多くのOS同様、FirstClassはUnicodeと呼ばれる新しい統合された文字エンコードを採用することになりました。これにより主な諸外国語を、すべてのプラットフォームで表示できるようになりました。メッセージ、ドキュメントの本文、フォームフィールド、さらに名前、ユーザID、パスワードに至るシステムデータまで対応しています。

Unicode サポートは、英語以外の言語でのメールの送受信や Web パブリッシングなどの FirstClass Internet Services にも完全に統合されています。

Webパブリッシングの承認

[共有ドキュメント] 権限により、Webパブリッシングの承認が可能となりました。この機能により、選択されたユーザの Web ページが、他の承認されたユーザに表示されるようになります。これで、お互いの内部ページを見るときに再ログインする必要がなくなります。



ミュージックフォルダ用コンテナテンプレート

共有フォルダに、新しいコンテナテンプレートが追加されました。ユーザが新規ミュージックフォルダをファイルストレージコンテナ内に作成すると、データカラムとしてアーティスト名やアルバム名などのMP3タグを展開します。



ディレクトリ

ディレクトリから直接会議室を開けるようになります。

Groups

・「Owner」メタグループ

各コンテナにOwnerを設定できるようになります。これにより、コンテナのOwnerに権限を設定する場合は、個人の名前を入力せずに、「Owner」と入力すれば済むようになります。



Batch Admin

Diagnostics

「サーバの監視」権限を持つユーザは、インデックスを診断するコマンドを実行できます。

SETEXPORTFILTERS

SETEXPORTFILTERSが拡張され、インポートスクリプトを実行する際に必要な手順の数が減りました。例えば、返信されたインポートスクリプトを編集してスタートパスを追加する場合、最初のメッセージでパスを指定するだけで済むようになります。構文は以下のようになります。

構文:

SETEXPORTFILTERS VERSION CURRENT

現在のバージョンのみをエクスポートします。(デフォルト)

構文:

SETEXPORTFILTERS VERSION ALL

過去のバージョンを含め、すべてのバージョンをエクスポートします。

更新日によってフィルタリングする、MODIFIEDというオプションが新しく追加されました。

構文：

SETEXPORTFILTERS MODIFIED BEFORE yyyy/mm/yy hh:mm:ss +d

指定した日時以前のものをすべて表示します。

構文：

SETEXPORTFILTERS MODIFIED AFTER yyyy/mm/yy hh:mm:ss +d

指定した日時以降のものをすべて表示します。

構文：

SETEXPORTFILTERS MODIFIED BEFORE yyyy/mm/yy hh:mm:ss MODIFIED AFTER yyyy/mm/yy

hh:mm:ss +d

指定した日時の間のものをすべて表示します。

SETEXPORTOPTIONS

このコマンドにより管理者は、任意のオプション1つを設定することができ、すべてのオプションを選択する必要がなくなります。

構文：

SETEXPORTOPTIONS

ATTACH <AttachmentName>

EXTENSION <ExtOfAttachments>

TARGET <BaseObjDesc>



7. FirstClassモバイルの新機能

アプリケーションの改良

iPhone・iPod touch用のFirstClassモバイルクライアントでは、リアルタイムでのプッシュ配信型メール機能、ソーシャルネットワークへのフルアクセス等の FirstClassアプリケーションの利用が可能です。FirstClassのフォームや、ワークフロー、アプリケーションサービスも利用することができます。

iPhone・iPod touch用FirstClassモバイルクライアントはApple App Storeからダウンロードができます。

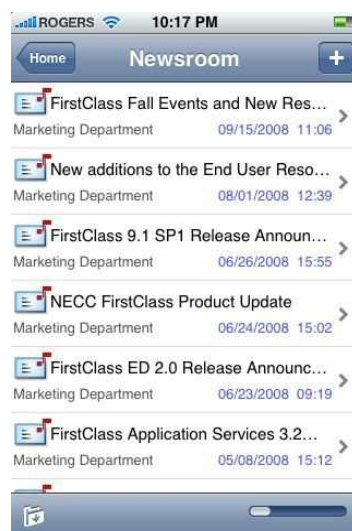
デスクトップ



メール



会議室



ファイルストレージ



iPhone・iPod touchからアクセスできるアイテム



メール



会議室



FirstClass
ドキュメント



カレンダー



コンタクト



ブックマーク

iPhone・iPod touchからFirstClassのカレンダーとコンタクトへのアクセスは、ActiveSyncによる同期のビルトインサポート経由となります。

主な機能

- ・FirstClassアカウントからの、メール作成、閲覧、返信、転送、削除
- ・MP3形式のボイスメッセージの再生
- ・FirstClassデスクトップ上のコンテナへのアクセスと閲覧
- ・FirstClass会議室内のメッセージの閲覧、転送、返信、履歴の確認
- ・FirstClassのデスクトップバージョンで作成されたブックマークリストへのアクセス
- ・FirstClassデスクトップクライアントで作成されたドキュメントの閲覧
- ・FirstClassにアップロードされたファイル(画像、テキストファイル、PDFを含む)の閲覧
- ・FirstClassモバイルのホームスクリーンから FirstClass コンテンツの検索

同期対応モバイルデバイスの拡張

マイクロソフトActiveSyncプロトコルに対応

FirstClass 10.0はマイクロソフトActiveSyncプロトコルに対応し、コンタクト、カレンダー予定、タスクデータの双方向の同期を可能にします。ActiveSyncはWindows Mobile、Palm/Treo、iPhoneに対応しているため、より簡単に、より経済的に、より強力なソリューションを提供することができます。ActiveSyncとの同期のためにサードパーティによる同期トランスレータを購入し、インストールする必要はなくなります。さらに、FirstClassに実装されたActiveSync対応機能では、ディレクトリの検索も可能です。これにより、ディレクトリ検索に対応したデバイスであれば、直接FirstClassディレクトリを検索することができます。ディレクトリの検索結果では、有効なプロフィールデータが登録されているエントリのみ表示されます。プロフィールデータは、ユーザデータあるいはバーチャルコンタクトとしてモバイルデバイスに提供されます。

FirstClass iSyncコネクタ

FirstClass 10.0には新しくFirstClass iSyncコネクタの機能が追加されます。FirstClassユーザは、このソフトウェアをAppleのMacパソコン上で実行します。すばやく簡単に設定をし、FirstClassのコンタクト、カレンダー予定、タスクデータ、ブックマークをiSync経由で、アドレスブック、iCal、MobileMeなど、またはiPhone、iPodや、iSyncに対応するその他のサードパーティ製のデバイスなどと同期できます。



8.アプリケーションサービス

FirstClassのカスタマイズや拡張、およびFirstClassをその他のシステムと統合させるツールとして、FirstClassアプリケーションサービス(FCAS)は、成長を続けています。FirstClass 10でFCASは大幅に拡張され、さらに広範囲のソリューションの構築ができるようになります。64bitバージョンが提供され、コードの実行スピードが著しく向上します。Helperアプリケーションもサポートされ、FirstClassのルールを利用して起動できます。

FCASの新バージョンは、FirstClassディレクトリ内のエントリに直接アクセスすることが可能になります。FirstClassスクリプトを用いずに、ユーザアカウントの作成、変更、削除ができるようになります。さらに、ディレクトリの検索、一覧表示ができるうえ、在籍確認などの動的なディレクトリ関連情報にまでアクセスできます。

また、同報通信、監査、ログインの有効化 / 無効化、ミラーリングの一時停止 / 再開、シャットダウンなどのサーバコントロールの範囲にわたる、プログラマティックなアクセスも可能になります。



9.FirstClassディレクトリサービス

FirstClassディレクトリサービスは、より柔軟な基盤に統合されました。FirstClassの開発では、システムの管理を可能な限り効率化し、管理者の負担を減らす努力が重ねられてきました。FirstClassディレクトリサービスは強力な機能により、MicrosoftのアクティブディレクトリやLDAPなどのメタディレクトリとの統合が可能です。FirstClass 10ではディレクトリサービスが拡張され、ユーザグループとメールリストの完全同期ができるようになります。これにより、グループやユーザの管理にメタディレクトリを利用している組織に、より高い柔軟性を提供し、管理の手間を省くことができます。



10.アーカイブサービス

FirstClassアーカイブサービスは、各種規制やコンプライアンスの問題に対処するため、大変重要な機能を提供します。現在、メールアドレスやその他の個人情報、以前とは比べ物にならないほど厳格な取り扱いが求められています。さらに、新会社法の施行に伴う内部統制構築のためにも、様々なデータを信頼性の高い方法で保存する必要があります。

FirstClassアーカイブサービスとは、システムの利用に関する認証やアクセス管理、マスタデータの一元管理といった、FirstClassの特徴を生かしたFirstClass 用の統合アーカイブ機能です。総合的なアーカイピングとデータ保管、検索機能を FirstClass上で提供します。データはFirstClassのコアサーバとネットワークで接続されたアーカイブサーバに安全・確実に保管します。

メッセージ、チャットの記録、共有カレンダーの予定、会議室へのメッセージなど、様々な重要データを自動的に安全に保存します。

扱う情報の内容により重要度も異なるので、部署などのグループごとに保存期間を設定できます。



メッセージのアーカイブ

グループごとに、設定したユーザのメッセージを自動でアーカイブするため、重要な情報を保管し忘れるといった事態を防ぎます。メッセージは添付ファイルも含めて完全コピーされます。インスタントメッセージの記録も同様に保存されます。

管理者がグループごとにアーカイブの保持期限を設定できます。その期間はすべてのメッセージを安全に保存します。保持期限に達したメッセージは、自動的にアーカイブサーバから削除されます。

ストレージ領域は、アーカイブ可能な各ユーザ用に自動的に作成され、必要に応じて追加領域が作成されます。



共有カレンダーの予定と公開会議室のアーカイブ

メッセージとチャットの記録の他に、共有カレンダーの予定と公開会議室もアーカイブの対象となります。

アーカイブするグループの[サービス]タブで、[共有カレンダーの予定をアーカイブする]にチェックを入れると、共有カレンダーの予定をアーカイブすることができます。カレンダーの予定はメッセージと共にアーカイブされます。

会議室および会議室内のメッセージは、コンテナに追加することでアーカイブされるようになります。

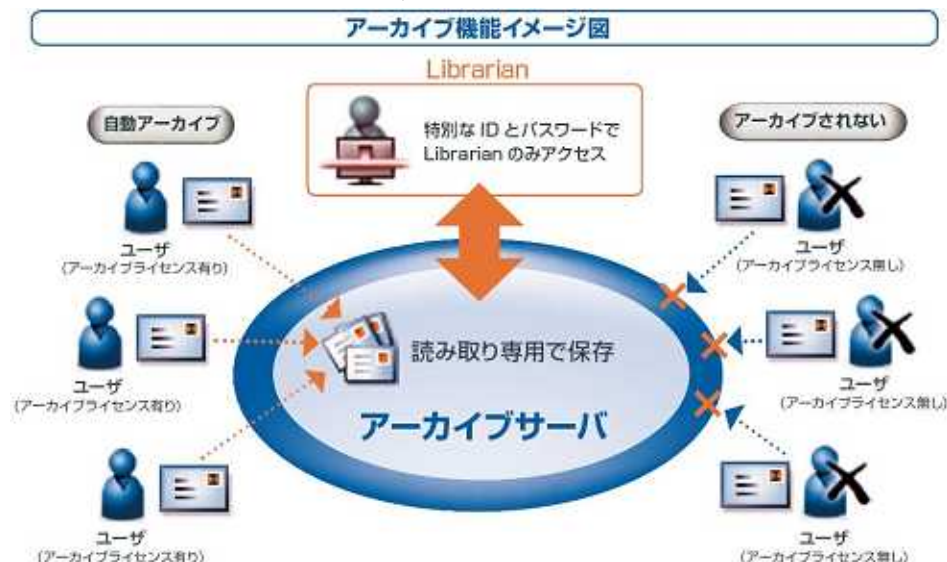
この例では、[アーカイブコンテナ] のテンプレートグループと [アーカイブ期間] が入力されています。



Librarianアカウント

FirstClassアーカイブサービスでは、アーカイブされたメッセージは読み取り専用になるので、アーカイブエリアでの不正改ざんを防ぎます。アーカイブサーバは、特別なIDとパスワードを持ったLibrarianのみアクセス可能です。

Librarianは、アーカイブサーバにログインし、メッセージを検索し、ユーザのFirstClass コアサーバに転送することで簡単にメッセージを復元できます。



アーカイブ機能を利用するには、別途ライセンスが必要となります。ライセンスはユーザごとに別々にセットアップできます。システム上のすべてのユーザにライセンスを与えることも、一部のユーザのみに与えることも可能です。



11.サーバメンテナンス



統計値

新しいフィールドがConfDeleteとFoldDeleteの統計値文字列に追加されます。これはコンテナタイプとしてリスト表示されます。あるコンテナが削除された時、その子コンテナの削除を追跡することができます。



ログマーカ

Windowsのサーバコンソールに、[ログ] > [ログにマーカを挿入する]、という新しいメニューが追加されます。これにより、コンソールとログファイルに水平線を挿入することができます。



基本設定のリアルタイムアップデート

管理者が基本設定でユーザの設定を変更した場合、ユーザがログインしななくても、リアルタイムで変更が適用されます。



Audit summary

Peer Registered usersの数と新規にインデックス化されたアイテム数が、監査でカウントされます。

例:

Archive accounts: 10
Users with a Voice DN: 144
Number of users expired: 45
Regular users: 572 Remote users: 7087
Peer registered accounts: 1
Archive accounts: 12
Users with a Voice DN: 455
Number of newly indexed items: 173
Number of items in index: 4239794
23 Blogs 68 Posts.
7 Communities 7 Items.
0 Documents 0 Messages 0 Files 93127 Events
Sorted 395 of 118104 containers found.
Skipped 50 read-only containers.
Repaired 1 of 2 problems found.
5 errors found.

パフォーマンス

監査のスピードを上げるため、インデックス情報はまとめて処理されます。さらに、複数の監査を一度に行えるようになります。接続中のアカウントがある場合は監査の前に切断します。

レポート

監査により、監査とインデックスの不一致がレポートされます。さらに、診断レポートには、ディレクトリが調整されたかを調査する新しい診断の結果が反映されます。

監査の報告機能強化

監査のサマリでは、アップロードされたファイル数やタスク、カレンダー予定が表示されるようになります。値が[0]となるレポートは、スペースの節約のため省略されます。報告の際、オブジェクトの作成者はオブジェクトの所有者に置き換えられます。

```
==== Ended: Monday, November 26, 2007 11:40:14 AM ====

Summary:
Regular users: 8      Remote users: 1
Users with a "FirstClass ED" profile: 0
4373 Documents 1302 Messages 178 Files 28 Events
```



パフォーマンスの改善

全般

スピードの向上と能率を高めるために、パフォーマンスと基本構造において複数の点が改良されました。

アーカイブサ - バ

アーカイブサーバのゲートウェイセッションが、“ホットタスク”として優先的に実行されます。バックログやトラフィックの混雑がある場合は、アーカイブサーバのゲートウェイがメッセージのトラフィックを保持します。



サーバモニタ

サーバモニタでは、アカウントごとの進捗バーが表示されるようになります。サーバのリモートコンソールは等幅フォントで表示されるようになります。



メトリクスの採用

サーバから集められたデータを記録する新しいファイル「adoption.csv」が、FCNSフォルダ内のstats.dirフォルダに追加されます。ユーザベースでシステムがどれだけうまく取り入れられているかを確認することが目的です。このファイルは深夜0時に総計がリセットされる時、あるいはサーバが起動する時に更新されます。また、このファイルは毎日深夜0時、およびサーバの起動時、シャットダウン時にレポートされます。サーバのシャットダウン時にも更新された場合、日付のカラムにはアスタリスクが表示されます。ファイルはXMLでフォーマットされます。



ライセンスの更新

ライセンスファイルは、FirstClassアップデートサービスにより、アップデートサーバを通じて提供されます。リストからアップデートを選択し、「Apply Update」をクリックすることで、FirstClass 10.0サーバのライセンスが適用されます。



12.フォームの変更点



サーバモニタ

コンテンツに合わせ、サーバモニタが拡張され、新しく[ワーカーのタスク]タブが追加されました (FirstClass クライアント9.124より)。[アクティビティ]タブにはアカウントごとの進捗バーが追加されました。



グループ権限フォーム

[機能] タブ

新しいフィールド、[インターネットメール]が追加されます。グループごとに、インターネットメールを許可するかどうかを設定できます。

また、これまでのバージョンと同様に、[共有ドキュメント]のフィールドで、各ユーザの共有ドキュメントフォルダ内のコンテンツの公開を設定できますが、新しいバージョンではさらに、承認されたユーザがお互いの Web ページを閲覧できるように設定できます。

[制限]タブ

非アクティブ状態から削除までの日数を、システムプロファイルで設定する以外にグループごとでも[制限]タブで設定できるようになります。

[サービス] タブ

ソーシャルメディアのドメインが追加されました。

また、[アーカイブサービス]のセクションが追加されました。アーカイブサービスを利用するかどうかと、アーカイブされたデータの保持期限を設定します。

[共有カレンダーの予定をアーカイブ] のチェックボックスを有効にすると、すべてのグループカレンダー予定の中から、そのグループに所属するユーザが作成者または参加者である予定をアーカイブします。

[基本設定]タブ

新しいフィールド、[インスタントメッセージの会話記録] が追加されます。インスタントメッセージの記録を許可するしないかを設定できます。強制的に記録するように設定することも可能です。すべての会話記録をアーカイブしたい場合に便利です。

 サーバツールズフォーム(コアサービス内)

サーバツールズフォームの追加により、今までFirstClass Toolsで行っていた操作がすべてサーバ側で行えるようになりました。ディレクトリの再構築、ネットワークセッションの管理、ディレクトリの言語のソート順の設定などが行えます。

 サーバ管理フォーム**[Status]タブ**

[ログにマークを挿入する] ボタンで、ログファイルおよびWindowsサーバコンソールに水平線を挿入できます。

 コンテナテンプレートフォーム

[アーカイブコンテナ]フィールドですべてのメンバーのアーカイブを設定できます。[アーカイブ期間]フィールドには、コンテナおよびコンテナ内のコンテンツを保存する期間が表示されます。

 Basic Internet Setup フォーム

サービスタブ・・・"Configuration refresh interval field" という新しいフィールドが追加されます。設定モジュールが新しい設定リソースを設置するために、サーバに問い合わせる頻度をこのフィールドで指定します。

 Internet Monitor フォーム

コントロールタブ・・・このタブは 4 つのサブタブに分かれています。同じ機能のほとんどはそのまま残っていますが、Reload Config(設定の再読み込み)ボタンは、Refresh(更新)ボタンとなり、変更を自動的に更新するまでの数分が待てない場合のみ必要となります。

 複数サイトと複数言語の設定フォーム

SSL ステータスフィールドで、[ログイン]オプションをサポートします。安全なログインが承認モードのために要求されたことを表します。

[承認]と[Web パブリッシング]の二つの新しいフィールドが追加されます。このフィールドで、ログインと Web パブリッシングをそれぞれ任意に制限することができます。



13.ボイスサービスの新機能

ボイスサービスの近年のバージョンでは、VoIP (Voice over Internet Protocol)、IP PBXとの直接接続、SIP (Session Initiation Protocol)を利用したVoIPのエンドポイントに対応しています。PBXに移行されたレガシー回路は、DSE (digital set emulation)ハードウェアカードのダイアログ回線の継続サポートにより保持されていました。このアプローチがうまく行っていた一方で、Dialogicハードウェアカードに対応できるサイズのPCIスロットを十分に備え、そのカードのインストールが可能なサーバPCを調達することは、複雑な問題でもありました。FirstClass 10ではボイスサービスがDialogic Media Gateways (DMG)に対応します。DMGは、近年のVoIP/SIPの世界と、以前主流だった回線切り替え方のPBXとの世界をつなぐ架け橋となる、スタンドアロン型のユニットです。FirstClassボイスサービスとDMGを有効利用し、PBX基盤をVoIPに最終的に移行するときは、簡単なアップグレードパスで実行が可能です。



音声サービス (Dialogic Media Gateways 対応)

VS(Voice Services)の最新版では、VoIP(Voice over Internet Protocol)や、SIP(Session Initiation Protocol)を利用して IP PBX と VoIP エンドポイントとを直接接続することがサポートされています。古い電気回路の PBX 交換機との統合は、Dialogic 社の DSE(digital set emulation)ハードウェアカードを利用することでサポートされていました。このアプローチは良い方法でしたが、Dialogic 社のハードウェアカードに対応した最適なサイズの PCI スロット数を持ち、尚且つハードウェアカードのドライバがインストールされている適切なサーバ PC を見つける事は、現在困難な状況です。

FirstClass 10 の音声サービスは DMG(Dialogic Media Gateways)に対応する予定です。DMG は、最新の VoIP/SIP 方式とこれまでの PBX 交換機の方式とを橋渡しする単体のユニットです。最終的に PBX のインフラ設備からネイティブの VoIP へ移行するより、DMG と FirstClass 音声サービスを利用することが、より容易なアップグレード方法となります。現行の仕組みと新規の仕組みについては以下の図で表記させていただきます。

FirstClass Unified Communicationsのキーコンポーネントとなる、Voice Service(VS)8.3は、VoIP (Voice over Internet Protocol)ネットワークのサポートを導入しました。FirstClassは、マルチメディアのシグナリング標準のSIP (Session Initiation Protocol)を経由し、直接IP PBXやVoIPのエンドポイントに接続することができます。



図1: DMG 1000シリーズ

表1は、Dialogic社がDMG1000シリーズとの互換性を保証するPBXのリストです。リストに記載がないIPBXについてはFirstClass Professional Servicesのスタッフに互換性について確認してください。

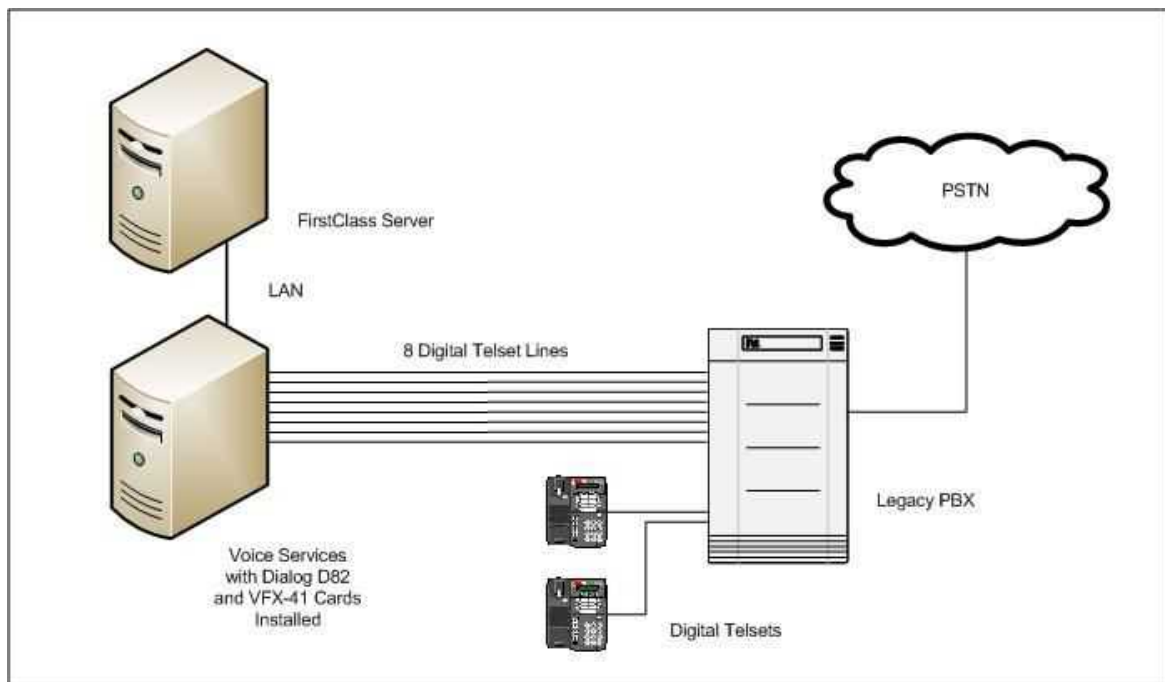
PBX Vendor	PBX Model	PBX Software (Min Release)	DMG
Avaya	Definity G3	Version 3	DMG1008DNIW
	S8100, S8300, S8700, S8710	Communications Manager SW V2.0	
	Magix	Release 2.0	
	Legend	Release 7.0	DMG1008LSW, DMG1004LSW
Mitel	SX-200D, SX-200 Light, SX-2000 Light, SX-2000 S, SX-2000 VS	Lightware Release 17	DMG1008MTLDNIW
NEC	2400 IMG	Release 7400	DMG1008DNIW
	2400 IMX	Release 5200 Dec 92 1b	
	2400 IPX	Release V.17 Issue 3.46.001	
Nortel	Meridian 1 Option 11, 21, 21A, 51, 61, 71, 81	Release 15 and options 19 and 46	DMG1008DNIW
	Meridian SL1	Release 15 and options 19 and 46	
	Communication Server 1000E, 1000M, 1000S	Release V3.0	
	Norstar 8X24	DR5 Release 1.2	
	Norstar MICS	Release 4.5	
Siemens	Hicom 300E CS	Release 9006.4 (NA software)	DMG1008DNIW
	Hicom 300E	Release 2.0 (EU software)	
	Rolm 8000	Release 80003	DMG1008RLMDNIW
	Rolm 9000	Any	
	Rolm 9751	Any Release of 9005, Release 9006.3, Release 9006.4 is required for end-to-end signaling	
Various	Through analog port and/or serial port (SMDI) integration.		DMG1008LSW, DMG1004LSW

表1: Dialogic Media GatewayとPBXの互換性

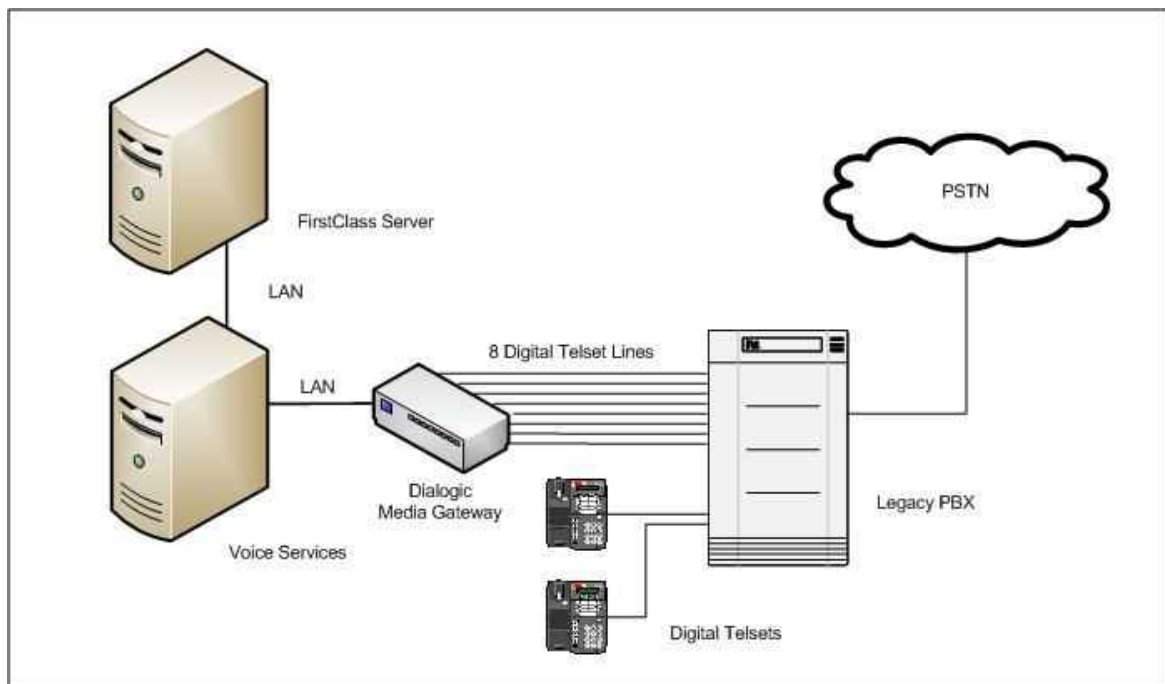
FirstClass SKU	Dialogic Part #	Description
S-FCCDMG8DNI	DMG1008DNIW	8 Port - Avaya, Nortel, NEC, Siemens
S-FCCDMG8MTL	DMG1008MTLDNIW	8 Port - Mitel
S-FCCDMG8RLM	DMG1008RLMDNIW	8 Port - Rolm
S-FCCDMG8LS	DMG1008LSW	8 Port – Analog FXO
S-FCCDMG4LS	DMG1004LSW	4 Port – Analog FXO
S-FCCDMG30DTI	DMG2030DTIQ	Single Span T1/E1
S-FCCDMG60DTI	DMG2060DTIQ	Dual Span T1/E1
S-FCCDMG120DTI	DMG2120DTI	Quad Span T1/E1

表 2: FirstClass DMG SKUs

[図 1] 現行: Dialogic 社のハードウェアカードを使用する旧 PBX 方式のデジタル 8 回線



[図 2] 新規: Dialogic 社のメディアゲートウェイを使用する旧 PBX 方式のデジタル 8 回線



FirstClass TUIには多くの新機能が追加されました。



スパムフィルタ

世界的規模で電話番号またはIPアドレスの承認・非証人が、vs_spam fileを作成することによって行えます。このファイルは電話をかける人の指定子や指令を使って設定し、電話受信などのアクションに対するフィルタを作成できます。



HMPサポート

ボイスサービスはSIPとT.38 Faxに対応します。



検索

ユーザのメールボックスから865にダイヤルし、メールボックス内を検索することができます。送信者、件名、カテゴリ、キーワードなどから検索が可能です。



カレンダーとしてメールボックスをナビゲート

FirstClassのメールボックスから88にダイヤルし、メールボックスの表示を切り替えることができます。カレンダー表示は全メール(ボイスメール、Fax、テキストメール)を日付でソートし、目的のメッセージがを見つけやすくなります。基本設定フォーム (Preferences form) からデフォルトの表示として設定することも可能です。



メッセージのスレッド

ユーザが電話からメッセージのスレッドを聞いている場合、ボイスサービスはそのスレッド内のメッセージのみ再生します。

現在ボイスサービスは日本語版では提供していません。

ご要望がありましたら弊社までお問合せください。

幅広いプラットフォームへの対応

FirstClassの鍵となる強みの一つは、システム管理者やユーザに、コンピュータ環境の幅広い選択肢を提供できることです。Windows、Macintosh、Linux、そして様々なWebブラウザに対応できる柔軟性は、他のソリューションでは実現できません。モバイル端末への対応は、この分野では他に例を見ません。それぞれのリリースでプラットフォームの対応を拡張し、ユーザを一つのプラットフォームに縛り付けることはありません。

Total Cost of Ownership (TCO) の削減

あるお客様がFirstClassとその他の主要ベンダーによるソリューションを比べたら、TCOは5倍から10倍ほどの差があったそうです。それぞれのリリースにおいてこの点に注目し、ユーザ管理の自動化、簡単なソフトウェアのアップグレード、ハードウェアの負荷の軽減、高い拡張性などに取り組み、結果的にTCOの削減を実現しています。

2010 年 8 月

本説明書は OPENTEXT 社の文書を基に当社が翻訳・編集したものです。
画面ショットは開発中のため英語版の表示画面を使用しています。

FC マネジメント

株式会社エフ・シー・マネジメント